

2024 年 11 月 吉日

関係各位

法政大学沖縄文化研究所

公開講演会（オンライン）開催のご案内

暮秋の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、法政大学沖縄文化研究所主催の公開講演会（Zoom）を開催することとなりました。つきましては、下記の通りご案内申し上げます。ご希望の方は、下記アドレスよりご参加ください。

記

□公開講演会（オンライン）

□司会 大里知子（法政大学沖縄文化研究所専任所員）

□講演者 間宮厚司氏（法政大学沖縄文化研究所兼任所員）

□コメンテーター ヤナ・ウルバノヴァー氏（法政大学沖縄文化研究所兼任所員）
福寛美氏（法政大学沖縄文化研究所兼任所員）

□日時：2024 年 12 月 12 日（木） Zoom にて配信

講演タイトル：「琉歌のオモカゲ(面影)考—『おもろさうし』などと比べて—」

昨年度末、私は「琉歌のナサケ(情)をめぐって」(『学習院大学上代文学研究・第 48 号』、2024 年 3 月)という琉歌に関する論文をはじめて発表した。琉歌(『琉歌全集』)にナサケ(情)という語は 99 例あるが、『おもろさうし』には 1 例もない。なぜなのか。

同様に琉歌にオモカゲ(面影)の語は 100 例あるが、『おもろさうし』には 5 例と少ない。そこで、琉歌と『おもろさうし』のオモカゲ(面影)の使用例を比較し、さらに、『万葉集』などの和歌のオモカゲ(面影)とも比べて、共通点と相違点を明らかにしたい。

なお、ヤナ・ウルバノヴァー著『琉歌の表現研究—和歌・オモロとの比較から』(森話社、2015 年)の第一章「面影」をめぐって 琉歌と和歌やオモロの表現比較」は、先行研究として、様々な素晴らしい指摘を詳細に行っているが、まだ触れられていないこともあるので、今回ここで、その点について発表することにしたい。

14:00～14:05 司会 大里知子（法政大学沖縄文化研究所専任所員）

14:05～14:55 講演 間宮厚司氏

14:55～15:00 休憩

15:00～15:20 コメント ヤナ・ウルバノヴァー氏・福寛美氏

15:20～16:00 質疑応答

□Zoom：ミーティング ID：836 5813 7847

パスコード：587953

※入室後はマイクをミュート状態にいただきますよう、お願いいたします。

質問等は、チャットにて受け付けいたします。

□講演内容は録画し、後日、沖縄文化研究所 You Tube チャンネルにて公開いたします。

当日にご参加いただけない方は、ぜひこちらをご覧ください。

以上